

# SEKISUI

環境・ライフラインカンパニー

エスロンタイムズ  
<https://eslontimes.com>



二次元コードで  
アクセスは  
コテラ!

専用の管理ページでさらに便利に!  
あなただけのエスロンタイムズ  
**MYエスロン**

\*記載価格はメーカー希望標準設計価格です。  
\*価格には消費税は含まれておりません。  
\*記載価格は2025年1月現在のものです。  
\*印刷のため製品の色調は実物とは異なる場合があります。  
\*記載事項は予告なく変更する場合があります。

不許転載

2014年 3月 初 版  
2025年 1月 改訂3版-0刷  
エスロン排水ヘッダーシステム・  
基礎貫通キットカタログ  
積水化学工業株式会社  
管材事業部

ツールコード  
No. 05469  
2025.1. 0TH TX

戸建住宅・アパート用排水システム

## エスロン® 排水ヘッダーシステム

## エスロン® 基礎貫通キット

長期優良住宅  
サポート

NEW 排水ヘッダーNT

基礎貫通キット

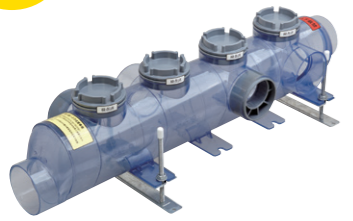
いい家の安心は、見えない床下から。



# 信頼のエスロン排水ヘッダーシステムがさらに進化!排水ヘッダーNT登場!

【配管例】

**NEW** 排水ヘッダーNT

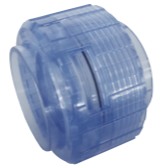


## エスロン排水ヘッダーNT 進化ポイント

1. 大容量、最大10器具流入可能  
最大10器具(アパート上下階2住戸分、二世帯住宅など)まで1台でまとめられます。
2. 親子ヘッダー方式が可能  
配管勾配が確保できれば、親子ヘッダー方式(ヘッダーを2本体に分割し、メインヘッダーとサブヘッダーを連結する方式)が可能です。

大曲りエルボ

**NEW** 排水ユニオン



メンテナンス経路の確保に威力を発揮

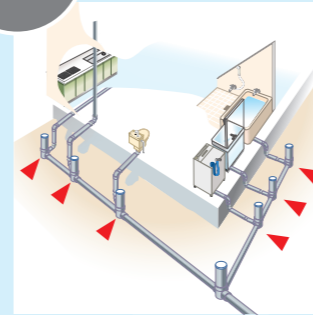
給水・給湯用  
基礎貫通キット

排水用 基礎貫通キット



## 排水配管システム(屋内外)

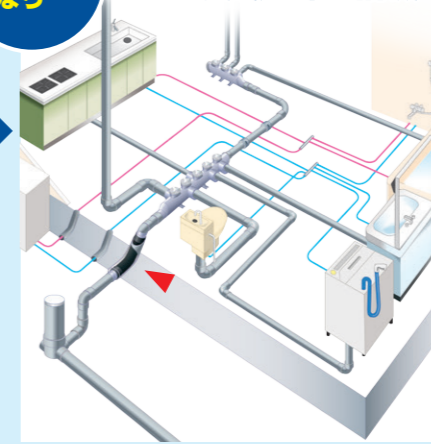
従来



●貫通箇所が多い

排水ヘッダーなら...

排水をまとめることで基礎貫通部を削減



**施工がラクに**

- 排水設備工事の省力化。
- 屋外汚雑埋設配管・宅地マスを削減。
- 外周基礎貫通数の削減。

**狭小地・リフォーム対策に**

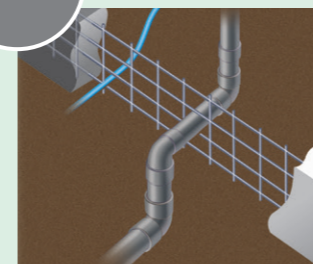
- 敷地面積の縮小化にともなう狭小地対策に最適。

**メンテナンスも容易**

- 土間に配管が露出するため、汚物詰まり等の確認が容易。

## 基礎貫通部

従来



- 貫通部が基礎コンクリートに埋設点検・補修が困難
- 貫通部周辺は鉄筋の法定コンクリートかぶり厚が確保できているか心配

基礎貫通キットなら



スリーブホルダーによりかぶり厚40mm確保。施工管理が容易。

**点検・補修が容易**

- 排水配管をさや管工法で配管することにより、排水管の抜き差しもコンクリート躯体に影響なし。

**施工管理が容易**

- スリーブホルダーにより鉄筋のかぶり厚を確保。

**排水ヘッダーシステム + 基礎貫通キット** で

基礎品質確保、カンタン維持管理。さらに経済的で省力施工。

※住設機器のレイアウト、自治体指導により配管設計は変わります。

## 戸建住宅の宅内排水合流にエスロン排水ヘッダーシステム

特長

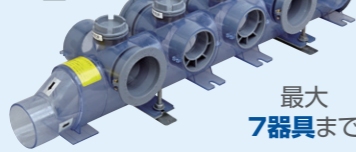
1. コンパクトで優れた掃流性を発揮する卵形形状
2. 逆流を抑制
3. 維持管理用の掃除口を設置
4. 支持金具により高さ調整もカンタン
5. 透明ボディで、施工確認が容易

**NEW** 排水ヘッダーNT



最大10器具まで

排水ヘッダーT型



最大7器具まで

## 長期優良住宅をサポート エスロン基礎貫通キット

特長

1. 将来の点検、補修がスムーズ
2. 管を差し込むだけのカンタン配管
3. 排水のほか、給水配管にも対応
4. さや管内の水密性も万全

【フラット35】S (住宅金融支援機構の住宅ローン)の技術基準に適合!

長期優良住宅法の規定に適合



可とう管の抜き差しが可能なので点検・補修が簡単に行えます。

住宅の品質確保促進法に対応。住宅の品質確保促進法「維持管理への配慮」の項目で等級2以上に対応します。

※品確法(等級2以上)とは「構造躯体に影響を及ぼすことなく専用配管の点検および補修を行うことができること。」

●給水、給湯ヘッダー工法と合わせたトータルシステムとしてのコスト削減の提案が可能です。

## 本文中のマークについて

**注意**

上記マークの付いている事項は、それらを守らないと大けが・火傷などの事故を引き起こすことがありますので、ご注意ください。

**注意**

上記マークの付いている事項は、製品性能を確保するために必ず守っていただきたい注意事項です。

## 目次

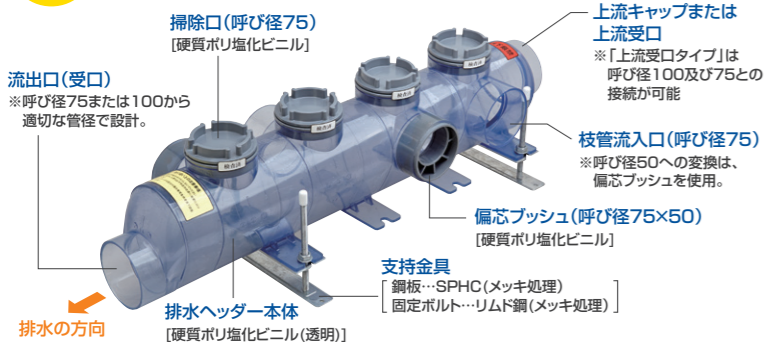
排水ヘッダーシステムのラインアップ	3
排水ヘッダーシステム2種の比較	3
排水ヘッダーシステム関連製品	4
排水ヘッダーの特長	4
排水ヘッダーの設計・施工について	4
基礎貫通キットの特長	5
基礎貫通キットのラインアップ	5
基礎貫通キットの構成部材	7
排水ヘッダーの標準施工手順	8
排水ユニオンの標準施工方法	9
基礎貫通キットの標準施工手順	10

# エスロン® 排水ヘッダーシステム

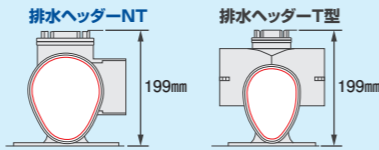


## 排水ヘッダーシステムのラインアップ

### NEW エスロン排水ヘッダーNT



- 最大10器具(アパート上下階2住戸分、二世帯住宅等)まで1台でまとめられます。
- 親子ヘッダー方式(ヘッダーを2本体に分割し、メインヘッダーとサブヘッダーを連結する方式)が可能です。
- 上流受口タイプの場合、上流受口より呼び径100および75の接続が可能です。
- 独自の卵形断面形状により、容量をアップしながら高さは従来のT型と同等(当社比)です。



- 上部の掃除口(呼び径75)と、透明本体を踏襲し、従来通り点検・メンテナンスが容易です。

### 排水ヘッダーNT 上流キャップタイプ

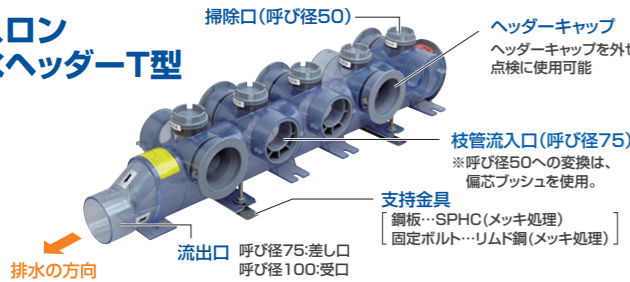
タイプ	流入口数	L
流出口径 呼び径75	2P	436
	3P	591
	4P	746
	5P	901
	6P	1056
流出口径 呼び径100	2P	446
	3P	601
	4P	756
	5P	911
	6P	1066
7P	1221	
8P	1376	
9P	1531	

### 排水ヘッダーNT 上流受口タイプ

タイプ	流入口数	L
流出口径 呼び径75	2P	320
	3P	475
	4P	630
	5P	785
	6P	940
	7P	1095
	8P	1250
流出口径 呼び径100	2P	330
	3P	485
	4P	640
	5P	795
	6P	950
7P	1105	
8P	1260	
9P	1415	

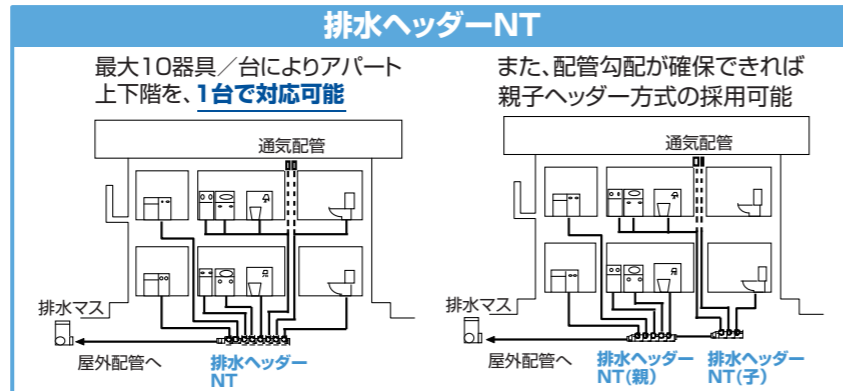
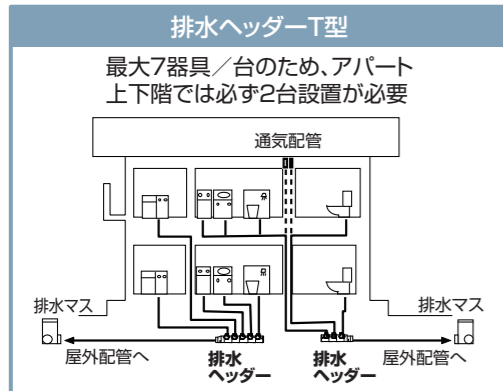
※1.1掃除口あたりの流入口数は、1箇所(右側流入または左側流入のどちらか。但し上流受口を除く)となります。  
 ※2.偏芯プッシュは現場接着です。着色接着剤で指定の現場では、偏芯プッシュの接着にエスロン接着剤No.73SブルーまたはNo.75SブルーNをご使用ください。

### エスロン排水ヘッダーT型



- 最大7器具まで1台でまとめられます。
- 透明本体であり、外部からの目視点検が可能です。
- 左右ある枝管流入口のうち、流入しない側のキャップを外せば、上部の掃除口(呼び径50)と合わせてメンテナンスに使用可能です。

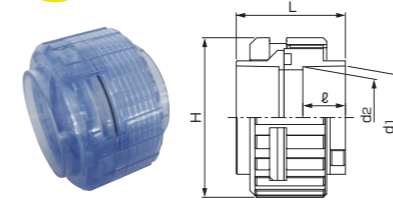
## 排水ヘッダーシステム2種の比較



## 関連製品

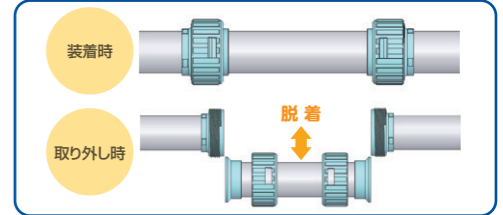
### NEW 排水ユニオン

床下の排水配管の脱着が容易に可能で、メンテナンス経路の確保に威力を発揮します。



サイズ	品番	d1	d2	ℓ	L	H
50	SUDU50	60.5	59.5	25	64	93
75	SUDU75	89.6	88.3	40	98	124

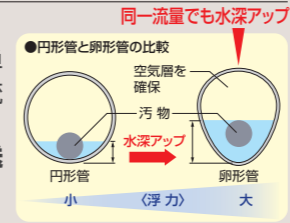
単位: mm



## 排水ヘッダーシステムの特長

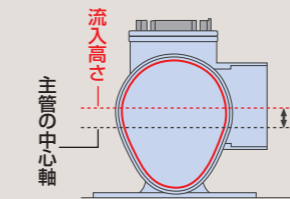
### 1.コンパクトで優れた掃流性を発揮する卵形形状。

排水ヘッダーの断面形状は、器具の複数同時排水から単独排水までスムーズに掃流できる卵形形状を採用。円形管に比べ、優れた搬送能力を持っています。



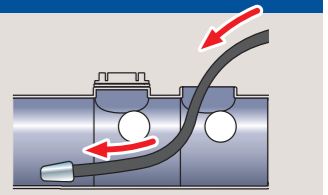
### 2.逆流を抑制。

排水枝管の流入高さは主管の中心軸より高く設置しており、他器具からの排水が逆流しにくい構造です。



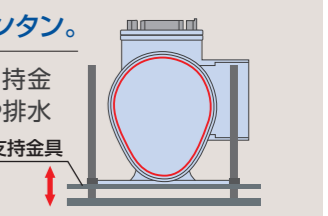
### 3.維持管理用の掃除口を設置。

上部の掃除口から、点検やメンテナンスが行えます。



### 4.支持金具により高さ調整もカンタン。

ヘッダーのレベル調整は付属の支持金具で土間コンクリート等から高さや排水勾配の調整が可能です。



### 5.透明ボディで、施工確認が容易。

本体の色は透明で、主管、枝管の接続を目視により確認することができます。

## 排水ヘッダーの設計・施工について

※詳細は「設計・施工マニュアル」をご参照ください。

メーカー(積水化学)で邸別に配管設計。建築図面から最適なシステム配管設計図を作成します。設計依頼時に以下の図面が必要になります。

- 1 平面図…排水器具の位置、パイプスペースの位置、建物寸法が明確なもの。
- 2 基礎伏図
- 3 配置図…最終マス位置が明記されているもの。

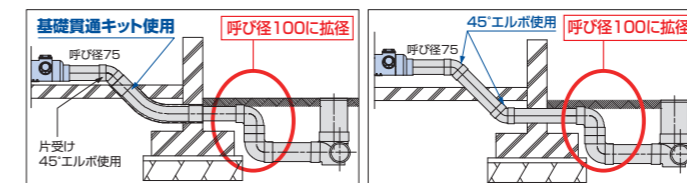
配管設計図の承認を頂いた後、生産をいたします。

### 1 排水ヘッダーの設計基準

	排水ヘッダーNT	排水ヘッダーT型
接続器具数	最大7器具 (但し、大便器とUBの器具数合計が3器具以内)	最大7器具 (但し、大便器は2器具以内)
	最大10器具 (但し、大便器とUBの器具数合計が4器具以内)	最大7器具 (但し、大便器は2器具以内)
流出口の管径	呼び径75、100に対応	呼び径75、100に対応
流入口の管径	呼び径50、75、100に対応 (100はヘッダー最上流部のみ接続可)	呼び径50、75に対応
2,3階器具の立て管合流	可(一部制限あり)	—
親子ヘッダー方式	可	—
接続ピース数/台	2~9P	2~7P
備考	排水形態に応じて通気などの対応が必要(設置条件はマニュアル参照)	

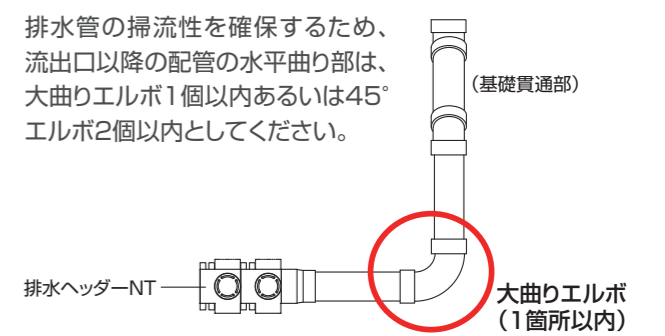
### 2 基礎貫通部の施工方法

排水ヘッダー流出管の外周基礎の貫通方法は、基礎貫通キット(または布基礎の場合45°エルボも可)を用いて斜めに配管します。また、排水主管が呼び径75の場合、下図のように基礎外側直近の立下げ部から口径を呼び径100に拡径し、マスへつなぎ込んでください。



### 3 流出口配管に水平曲りがある場合

排水管の掃流性を確保するため、流出口以降の配管の水平曲り部は、大曲りエルボ1個以内あるいは45°エルボ2個以内としてください。



# エスロン® 基礎貫通キット



## 基礎貫通キットの特長

### 1. 将来の点検、補修がスムーズに行えます。

排水配管をさや管工法で配管することにより、排水管の抜き差しもコンクリート躯体に影響を与えず、点検・補修がスムーズに行えます。



### 2. 管を差し込むだけのカンタン配管。

排水配管に可とう管を用いることによって、スリーブバンド管(さや管)内の配管もラクラク行えます。なお、受口は透明塩ビなので、通常の塩ビ管との接着接合と接合確認が行えます。



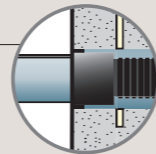
### 3. 排水のほか、給水配管にも対応します。

エスロン基礎貫通キットは排水配管だけでなく、給水配管(架橋ポリエチレン管、金属強化ポリエチレン管)の基礎貫通にも対応できます。



### 4. さや管内の水密性も万全です。

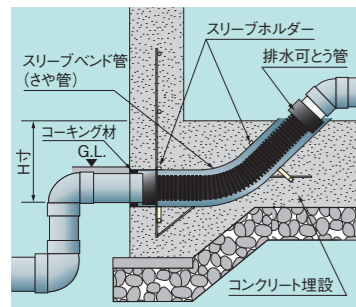
スリーブバンド管(さや管)と可とう管のすき間を現場にてシーリング材で仕上げ易くするためのコーキング材を同梱しています。



完全止水

## 基礎貫通キットのラインアップ

### 標準基礎用セット

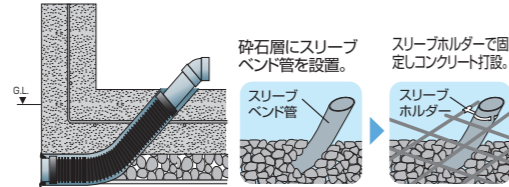


※標準基礎用スリーブバンド管を、塩ビ接着で配管延長はできません。

### 以下のタイプにも対応可能

#### シングルベタ基礎

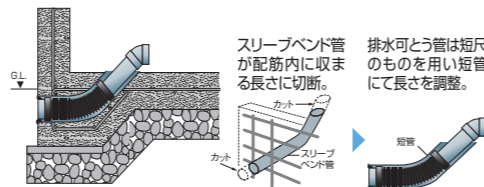
主筋の下への配管が可能



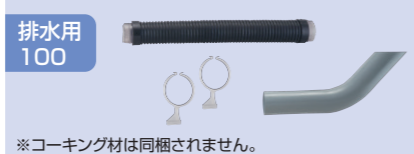
該当品種：H寸…300、325等の品種

#### コンクリート埋設部が短尺になる場合

鉄筋の位置に応じて配管できる。(現地調整可)



該当品種：セット品番 YD5SEF-YD7SEF-YDHFSEF



### 基本セット部材

(スリーブバンド管+排水可とう管+コーキング材+スリーブホルダー(×2個)) 単位：mm

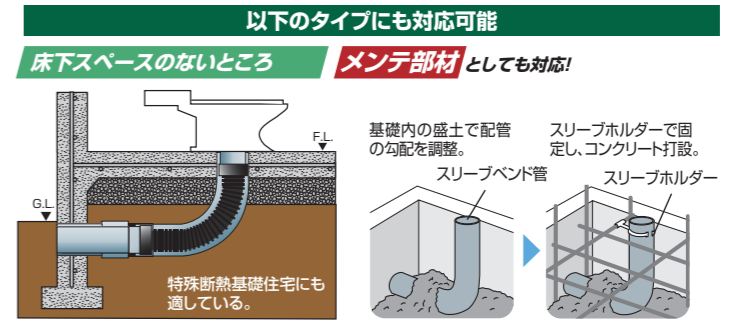
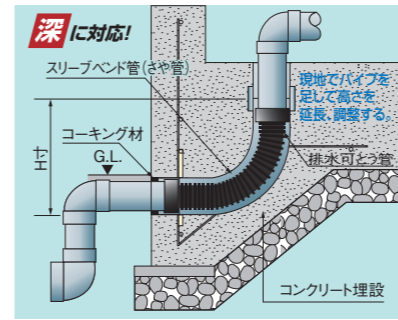
用途	スリーブバンド管 対象管径 H寸	セット品番	セット価格 (円/セット)	排水可とう管 (L寸)	コーキング材 パッキン テープ	スリーブホルダー (×2個)	入り数 (セット)
排水用	50用	YD5SSF	14,220	●(580)	●	●	9
		YD5SKF	14,400	●(580)	●	●	9
		YD5SEF	14,400	●(420)	●	●	9
		YD50SN	14,640	●(630)	●	●	9
	75用	YD7SSF	19,110	●(580)	●	●	6
		YD7SKF	19,280	●(580)	●	●	6
		YD7SEF	19,280	●(470)	●	●	6
	100用	YD75SN	19,520	●(670)	●	●	6
		YDHSSF	26,230	●(700)	-	-	4
		YDHSEF	26,230	●(540)	-	-	4
給水給湯用	PEX SMTX	YDKSSF	2,930	-	●	●	9
	YDBBH	3,170	-	-	●	●	9

### その他セット部材

単位：mm

用途	スリーブバンド管 対象管径 H寸	セット品番	セット価格 (円/セット)	排水可とう管 (L寸)	コーキング材 パッキン テープ	スリーブホルダー (×2個)	入り数 (セット)
排水用	50用	YD5SSS	13,420	●(580)	●	-	9
		YD5SKS	13,540	●(580)	●	-	9
		YD5SES	13,150	●(420)	-	-	9
		YD50SR	13,390	●(630)	●	-	9
		YD7SSS	18,300	●(580)	●	-	6
	75用	YD7SKS	18,430	●(580)	●	-	6
		YD7SES	17,890	●(470)	-	-	6
		YD75SR	18,130	●(670)	●	-	6
	100用	YDHSSS	24,290	●(700)	-	-	4
		YDHGKS	25,470	●(700)	-	-	4
給水給湯用	PEX SMTX	YDKSSS	2,130	-	●	-	9
	YDBBR	2,690	-	-	●	-	9
	YDKFSF	4,150	-	-	-	●	3

## 深基礎用セット



※深基礎用スリーブバンド管の配管延長は、片側のみ可能です。両端のパイプ延長は更新時に可とう管が抜けなくなるため、不可となります。  
※深基礎用スリーブバンド管は、VUソケットによる延長が可能です。



### 基本セット部材

(スリーブバンド管+排水可とう管+コーキング材+スリーブホルダー(×2個)) 単位：mm

用途	スリーブバンド管 対象管径 H寸	セット品番	セット価格 (円/セット)	排水可とう管 (L寸)	コーキング材 パッキン テープ	スリーブホルダー (×2個)	入り数 (セット)
排水用	50用	YD5FSF	16,590	●(730)	●	-	3
	75用	YD7FSF	21,550	●(730)	●	-	3
	100用	YDHFSS	41,480	●(900)	-	-	2
給水給湯用	PEX SMTX	YDKFSK	4,390	-	-	●	3

### その他セット部材

単位：mm

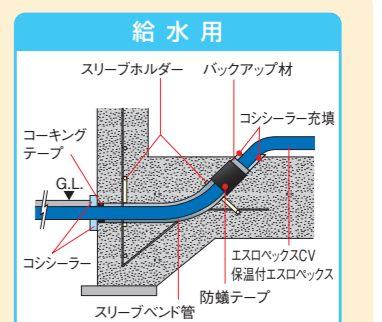
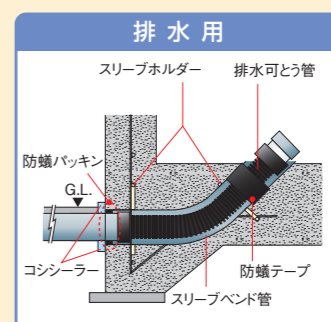
用途	スリーブバンド管 対象管径 H寸	セット品番	セット価格 (円/セット)	排水可とう管 (L寸)	コーキング材 パッキン テープ	スリーブホルダー (×2個)	入り数 (セット)
排水用	50用	YD5FSS	15,750	●(730)	●	-	3
	75用	YD7FSS	20,740	●(730)	●	-	3
	100用	YDHFSS	39,090	●(900)	-	-	2
給水給湯用	PEX SMTX	YDKFSS	3,440	-	-	-	3

## 防蟻セット



長期優良住宅法の認定を受けるための性能認定基準における「劣化対策等級3」の条件には防蟻対策が含まれます。セキスイは、基礎貫通キット防蟻セットと防蟻処理施工の組み合わせで長期優良住宅法適用をサポートします。

防蟻処理施工、及び、5年間保証につきましては、(株)コシイプレザービング様にご相談ください。  
連絡先 株式会社コシイプレザービング  
〒559-0026 大阪市住之江区平林北2-9-145  
TEL:06-6685-1911



### 基本セット部材

(スリーブバンド管+排水可とう管+コーキング材+防蟻テープ+スリーブホルダー(×2個)) 単位：mm

用途	スリーブバンド管 対象管径 H寸	セット品番	セット価格 (円/セット)	排水可とう管 (L寸)	コーキング材 パッキン テープ	防蟻テープ	スリーブホルダー (×2個)	入り数 (セット)	
排水用	50用	YD5SSFB	16,670	●(580)	●	-	●	9	
		YD5SKFB	16,840	●(580)	●	-	●	9	
	75用	YD7SSFB	21,550	●(580)	●	-	●	6	
		YD7SKFB	21,710	●(580)	●	-	●	6	
	給水給湯用	PEX SMTX	YDKSSFB	4,390	-	※1	●	●	9

### コシシーラー(別売)

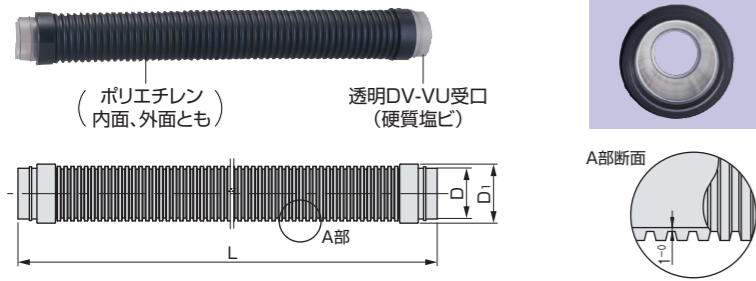
※コシイプレザービング社製 内容量 320ml/本 単位：mm

品名	品番	定価	対象 スリーブバンド管	入り数
コシシーラー	YDSCB	7,320	給水用	10

※1 防蟻パッキンの代わりに、給水用防蟻シーラーが必要

基礎貫通キットの構成部材

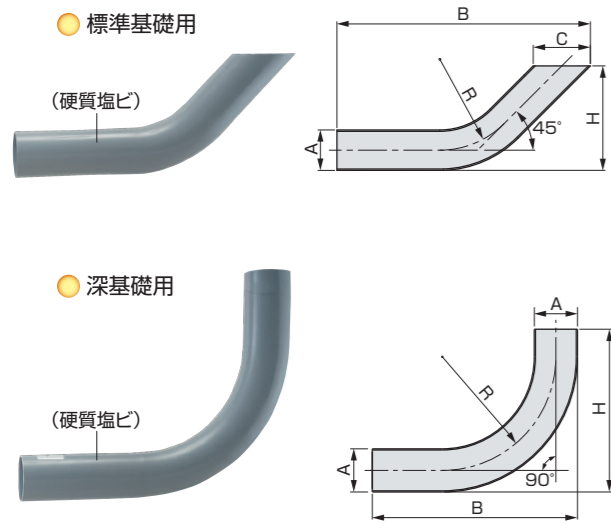
排水可とう管(内管)



単位:mm

種別	呼び径	L	D	D <sub>1</sub>
I	50	420	φ67	φ78
II		580	φ67	φ78
III		630	φ67	φ78
IV		730	φ67	φ78
V	75	470	φ97	φ101
VI		580	φ97	φ101
VII		670	φ97	φ101
VIII		730	φ97	φ101
IX	100	700	φ124	φ128
X		540	φ124	φ128
XI		900	φ124	φ128

スリーブバンド管(さや管)



単位:mm

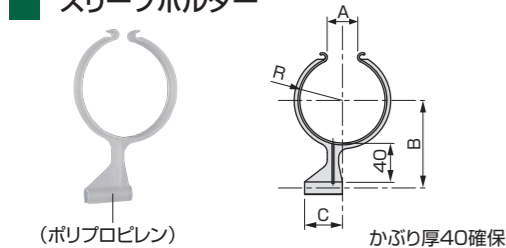
用途	対象管径	H	A	B	C	R	対応排水可とう管
排水用	50用	230	φ89	551	126	200	II
		280	φ89	541	126	200	I, II
		300	φ89	576	126	200	III
	75用	230	φ114	567	161	250	VI
		280	φ114	559	161	250	V, VI
		325	φ114	611	161	250	VII
100用	250	φ140	668	194	350	IX	
	300	φ140	648	194	350	X, IX	
給水・給湯用	PEX・SMTX用	230	φ60	511	89	200	PEX-SMTX
		270	φ60	533	89	200	PEX-SMTX

単位:mm

用途	対象管径	H	A	B	R	対応排水可とう管
排水用	50用	430	φ89	530	250	IV
	75用	430	φ114	542	300	VIII
	100用	600	φ140	600	400	XI
給水・給湯用	PEX・SMTX用	430	φ60	515	250	PEX-SMTX

PEX:エスロベックス(架橋ポリエチレン管)  
SMTX:スーパーエスロメタックス(金属強化ポリエチレン管)

スリーブホルダー

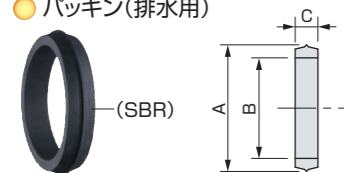


単位:mm

製品名	A	B	C	R	対象鉄筋径	品番	梱包数(個)
排水用	32	93	40	45	φ10	YDSHA	500
	32	93	40	45	φ10	YDSHC	50
給水・給湯用	17	70	40	23	φ10	YDSHB	500
	17	70	40	23	φ10	YDSHD	50

コーキング部材

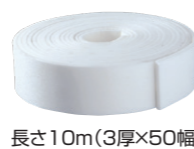
● パッキン(排水用)



単位:mm

呼び径	A	B	C	対象可とう管
50	φ83.6	φ66.4	14.5	I-II-III-IV
75	φ106.6	φ96.0	14.5	V-VI-VII-VIII

● テープ(給水用)



防蟻部材

● 防蟻パッキン



単位:mm

呼び径	A	B	C
50	φ83.7	φ66.4	14.5
75	φ107.7	φ96.0	14.5

● 防蟻テープ  
(スリーブバンド管外周用)



排水ヘッダーの標準施工手順

1 排水ヘッダーの位置決め



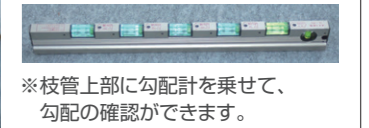
支持金具を排水ヘッダーに固定し、設置位置を確認します。



4 ヘッダーの勾配確認



排水ヘッダーが所定の勾配になるように、仮固定しておいた支持金具と排水ヘッダーを調整し、本締めします。



※枝管上部に勾配計を乗せて、勾配の確認ができます。

⚠ 排水ヘッダー主管には勾配がついていませんので、必ず所定の勾配をつけてください。

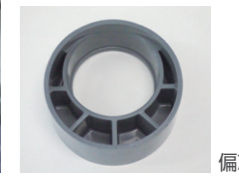
2 排水ヘッダー流出口の配管との接続



排水ヘッダー流出口と排水管を接続します。

※排水ヘッダーの流出口形状は、受口です。  
(但し、T型呼び径75のみ差し口)  
※接着剤は、着色接着剤のエスロン接着剤No.73SブルーまたはNo.75SブルーNを推奨します。

5 排水枝管との接続



偏芯ブッシュ

排水ヘッダーと器具側排水枝管を接続します。

※器具側排水枝管呼び径50を接続する場合は、偏芯ブッシュ75×50を使用してください。

3 支持金具の固定



コンクリートビス等で、支持金具を土間コンクリート上に取り付けます。

6 排水枝管の支持固定



支持固定では、継手接合部、器具直下を、それぞれ支持金具を使用して固定してください。

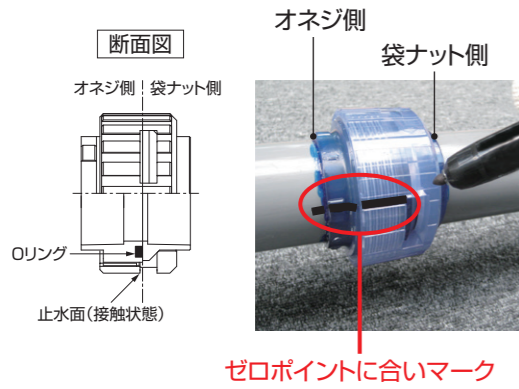
⚠ 注意 2階大便秘器及び2階雑排水の2器具以上の合流の場合は、通気弁を設置してください。(詳細は、設計・施工マニュアルをご参照ください)

⚠ 排水ヘッダーの使用上の注意

- 排水ヘッダーの上に乗ったり、放り投げたりしないでください。また、保管は屋内保管を原則としてください。
- 連続最高使用温度は45℃です。
- 熱伸縮による管の抜けや破損を防止するために、伸縮継手を必要に応じて設置してください。
- 排水ヘッダーの向かい合う枝管への合流配管は禁止です。
- 引渡し前に、排水ヘッダーの掃除口が確実に閉まっていることを確認してください。
- 排水ヘッダーを支持金具で確実に固定し、配管の勾配を確認してください。
- 施工の詳細については「設計・施工マニュアル」をご参照ください。
- 接着剤に当たっては、別途「エスロン接着剤」カタログをご参照の上、安全・確実に施工をしてください。
- 排水ヘッダーT型のヘッダーキャップを付け替えた時は、ヘッダーキャップをヘッダー本体受口奥部まで挿入し、必ずビス止めをしてください。

排水ユニオンの標準施工方法

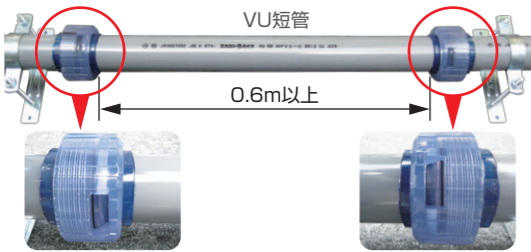
1 袋ナットの締め付け方法



- ① Oリングが袋ナット側に当たった状態で、袋ナットを軽く回転し止まった点をゼロポイントとします。
- ② ゼロポイントで袋ナット側とオネジ側に、合いマークを油性ペンで記入します。
- ③ 袋ナットを手で締め付けます。締め付け量は以下の通りにしてください。



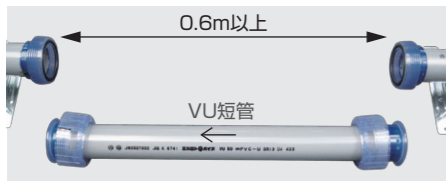
2 新設時の施工



排水ユニオンを設置する際には、0.6m以上の間隔で設置してください。VU短管の両端(下図参照)には袋ナット側を接着結合してください。



3 既設配管への排水ユニオンの施工



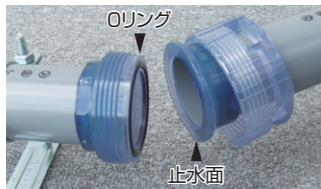
- ① 排水ユニオンを設置する際には、0.6m以上の間隔で設置してください。
- ② 切断したVU短管から、排水ユニオン2個分の有効長(φ50:18×2=36mm、φ75:20×2=40mm)を、さらに切断します。
- ③ VU短管の両端に、袋ナット側を接着結合してください。止水面保護のため、この時点では排水ユニオンは分解せずに接着してください。
- ④ 上記接着の後、袋ナットを外し、オネジ側を既設配管に接着結合します。
- ⑤ VU短管を取り付け、「1 袋ナットの締め付け方法」の手順に沿って締め付けてください。

※VU短管には、流れ方向を示す矢印を油性ペンで記入すること

4 メンテナンス手順①: VU短管の取り外し

VU短管に矢印記入(または表記確認)後、両側の袋ナットを外してください。

5 メンテナンス手順②: VU短管の取り付け



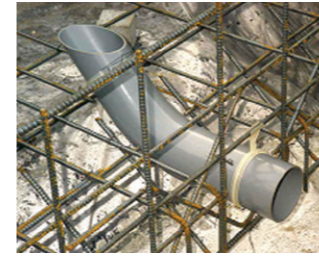
- ① Oリングおよび止水面に傷や異物の付着が無いことを確認し、ある場合は除去してください。
- ② VU短管の矢印表記を利用し、取り外す前に同じ向きにVU短管を取り付けます。その後、「1 袋ナットの締め付け方法」の手順に沿って締め付けてください。

排水ユニオンの使用上の注意

- 取り外しが固い場合等は、市販のフックスパナを使用してください。(袋ナットの窓穴に引っ掛けて使用できます)
- 不適切な工具等で無理な力や衝撃を与えた場合、部材が破損するおそれがありますので、ご注意ください。
- パイプは直角に切断してください。
- 接着結合の方法は、当社標準施工をご参照ください。
- 止水面やOリングにかからないよう、接着剤の塗りすぎにご注意ください。
- 勾配が変わらないよう、排水ユニオンの間には曲り継手を入れないでください。
- 止水面は、傷や異物の付着がないよう取り扱ってください。
- 排水ユニオンの締め付け・施工完了後は、必ず通水試験を行ってください。

基礎貫通キットの標準施工手順

1 スリーブバンド管(さや管)の位置決め



スリーブバンド管(さや管)の位置を確認後、スリーブホルダーにて鉄筋との離隔距離を確保します。

4 排水可とう管の貫通



型枠を取り外し、両端の布テープ等をはがして、スリーブバンド管内に排水可とう管を貫通します。

2 型枠の設置



スリーブバンド管の固定後、コンクリートが入らないように、スリーブバンド管の両端を布テープ等で固定して、型枠の設置を行います。

5 止水処理



屋外側スリーブバンド管と内管のすきまをシーリング材にて仕上げます。

- 排水の場合
  - ・排水用75・50は屋外側スリーブバンド管と排水可とう管のすき間にコーキングパッキンをはめ込みます。(排水用100はコーキングパッキン不要)
  - ⚠ 排水可とう管にコーキングパッキンを取り付け、スリーブバンド管内へプラスチックハンマー等で軽くたたきながら入れてください。
  - ・屋内外の排水可とう管前後の配管を行った後、上記すき間をシーリング材により充填します。
- 給水の場合
  - ・給水の場合は架橋ポリエチレン管にコーキングテープを巻き付け、充填します。
  - ・コーキングテープの上からシーリング材を充填します。

3 コンクリート打設



スリーブバンド管が移動しないように注意しながら、コンクリート打設を行います。

基礎貫通キットの使用上の注意

- 排水可とう管の上ののったり、無理な曲げをかけたりにしないでください。
- 排水可とう管単体での使用はおやめください。必ず、スリーブバンド管(さや管)と組み合わせてお使いください。
- コーキング部材(パッキン、テープ)はシーリング材の受けとしてお使いください。そのみで止水性能は発揮できません。
- 配管が建物の外周基礎や壁、床等を貫通する際に使用されるシーリング材には、硬質ポリ塩化ビニル管・継手に悪影響を及ぼす可塑剤(フタル酸エステル、DOP等)や有機溶剤(キシレン、トルエン等)を含む物(ポリウレタン系シーリング材等)があります。これらの成分を含むシーリング材は塩ビ管や継手に悪影響を及ぼす恐れがありますので使用しないでください。(推奨品:積水フーラー社製 シリコーン系シーリング材、変成シリコーン系シーリング材)
- 怪我することがありますので、排水可とう管を挿入する際はスリーブバンド管の管端に注意してください。
- コンクリート打設時はパイプレーター、突き棒等でスリーブバンド管がつぶれないようにしてください。
- スリーブバンド管内にゴミを入れないでください。排水可とう管が通管できなくなることがあります。
- 排水可とう管は、長さ調整の為にカットできませんのでご注意ください。
- 設計・施工の際は住宅メーカーと協議した上で、配管を行ってください。